

- 問1 縄文時代に作られた土偶の中には、わざと体の一部を壊した状態で発見されるものが多くあります。このような特徴から推測される、土偶が作られた目的として最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 病気や怪我のある部分を壊すことで、その痛みを土偶に引き受けてもらおうとする身代わりの願い。 | 2. 土器を作る技術が未熟であったため、焼成の過程で自然に壊れてしまうことを前提とした観賞用。 | 3. 集落間の争いにおいて、倒した敵の姿を土偶に投影し、戦勝を記念して破壊する儀礼用。 | 4. 大陸から伝わった高度な彫刻技術を模倣しようとして、失敗したものを廃棄した残骸。 |
|--|---|---|--|
- 問2 2019年に制定された「アイヌ施策推進法」では、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を目指しています。アイヌ民族が日本の先住民族であることを認め、その独自の伝統や文化を維持・振興することで実現しようとしている、多様な背景を持つ人々が共に暮らす社会のあり方を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|------------|-----------|
| 1. 多文化共生社会 | 2. 持続可能な社会 | 3. 高度情報化社会 | 4. 中央集権社会 |
|------------|------------|------------|-----------|
- 問3 縄文時代の人々が、遮光器土偶に見られるような独特な形をした土製品を多く製作した理由として、当時の社会背景から考えられる背景はどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 金属器がまだ普及しておらず、全ての調理器具や狩猟道具を土で作る必要があったため。 | 2. 強力な王が国を統一し、自分の権力を誇示するために同じ形の像を大量生産させたため。 | 3. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出するための芸術性を追求したため。 | 4. 自然の脅威や病気に対して、超自然的な力による解決や生命力の向上を祈る必要があったため。 |
|---|---|---|--|
- 問4 紀元前2000年ごろ、世界でインダス文明が栄えていた時期の日本列島における生活の様子を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 金属器が伝来して武器や祭祀の道具として使われ、有力な王を葬るための巨大な前方後円墳が築かれた | 2. 薄手で硬い赤褐色の土器を用いて食料を保存し、大規模な水田での稲作を中心とした生活を送っていた | 3. 表面に縄の模様がついた厚手の土器を用いて煮炊きを行い、地面を掘り下げて床を作った住居に住んでいた | 4. 土器はまだ作られておらず、ナウマンゾウなどの大型の獲物を追いつながら移動して生活していた |
|---|---|---|---|
- 問5 縄文時代の人々が製作した「土偶」について、その特徴や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 安産や豊作を祈るまじない、あるいは病気の治癒を願う儀式的道具として用いられた。 | 2. 亡くなった有力者の権力を示すために、巨大な墓の周囲に並べる装飾として作られた。 | 3. 武士が戦場に赴く際、勝利を祈願して寺社に奉納するための供え物として作られた。 | 4. 大陸から伝わった稲作技術とともに、収穫した稲の穂を摘み取るための道具として広まった。 |
|--|--|---|---|
- 問6 青森県にある三内丸山遺跡をはじめ、日本各地の縄文時代の遺跡から見つかる「土偶」について、その製作背景や当時の生活の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 縄文土器が作られ、狩猟や採集による定住生活が行われる中で、食物の豊作や多産を祈るために作られた。 | 2. 王や豪族といった有力者が現れ、巨大な前方後円墳が築かれた際に、死者を弔うために作られた。 | 3. 大陸から伝わった仏教の教えが広まり、寺院の本尊として拝むために精巧に作られた。 | 4. 本格的な稲作が広まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や金属器が普及する中で、魔除けとして作られた。 |
|---|---|--|--|
- 問7 縄文時代の遺跡から発見される、人間を模した土製品（土偶）に関する記述として、当時の人々の暮らしや考え方を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|-------------------------------------|
| 1. 定住生活が始まったことで、集落の入り口に魔除けとして立てられた石像である | 2. 亡くなった豪族の権威を示すため、巨大な墓の周辺に副葬品として配置された | 3. 自然の恵みや生命の誕生を願う、当時の人々の切実な信仰心に基づき製作された | 4. 米作りの儀式において、神の依代として用いられた青銅製の道具である |
|---|--|---|-------------------------------------|
- 問8 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|--------|----------|
| 1. 蝦夷（えみし） | 2. 琉球民族 | 3. 渡来人 | 4. アイヌ民族 |
|------------|---------|--------|----------|
- 問9 縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。 | 2. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。 | 3. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。 | 4. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した石製品である。 |
|--|---|---|--|
- 問10 約1万年前に氷期が終わり、日本列島の周辺環境が変化した際の様子について説明した文として、適切なものを選択してください。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた | 2. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された | 3. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった | 4. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問11 縄文時代における自然環境の変化と人々の暮らしの関係について、正しい背景を説明しているものはどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 温暖化により落葉広葉樹林や照葉樹林が広がり、ドングリなどの木の実が豊富になったため、採集活動が重要な食料確保手段となった。 | 2. 大陸と陸続きになったことで新たな家畜が持ち込まれ、広大な牧場での放牧を主体とした生活へと移行した。 | 3. 寒冷化によって大型動物が絶滅したため、人々は食料を求めて移動を繰り返す洞穴での生活を余儀なくされた。 | 4. 激しい気候変動を乗り切るために、共同体で大規模な金属器の生産を行い、近隣の集落と食料を奪い合う戦争が日常化した。 |
|--|--|---|---|
- 問12 約1万年前に地球の温暖化が進んで海面が上昇し、日本列島が形成された時期の生活の様子として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 大陸から伝わった稲作が本格的に広まり、収穫した米を保存するために高床倉庫が作られるようになった。 | 2. 各地で大規模な灌漑施設が整えられ、太陽暦を用いて農作業の時期を管理する生活が始まった。 | 3. 地面を掘り下げた竪穴住居に住み、弓矢を用いた狩猟や木の実の採集、漁を中心とした生活を営んでいた。 | 4. 強力な支配者が現れ、自らの権威を示すために巨大な古墳を築き、その周囲に埴輪を並べるようになった。 |
|---|--|---|---|